

## 国家として疫病にどう向き合うか（覚書）

——台湾の新型コロナ対策に学ぶ——

仙波義規

### はじめに

令和3年1月7日、昨年2月以来2度目の『緊急事態宣言』が神奈川県、埼玉県、千葉県、東京都に発令された。31日間の限定的なものであり、「首都圏を中心に、新規感染報告が過去最多を記録し続け、医療体制がひっ迫している現状に歯止めをかけ、減少傾向に転じさせることを目的」<sup>(1)</sup>としている。

昨年一年間は世界的に見てコロナウイルスの1年であった。行動は制限され、働き方も大きく変化を迫られた。1月16日時点で世界全体のコロナウイルス感染による死者数は2,008,273人に及ぶといわれている<sup>(2)</sup>。とはいえ、各国の死者数は驚くほど違う（以下図1参照）<sup>(3)</sup>。

- 
- (1) 「令和3年1月7日新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室）」  
[https://corona.go.jp/news/pdf/kinkyujitaisengen\\_houkoku\\_20210107.pdf](https://corona.go.jp/news/pdf/kinkyujitaisengen_houkoku_20210107.pdf)（最終確認：2021年2月2日）を参照。
  - (2) 「新型コロナウイルス感染世界マップ」  
<https://vdata.nikkei.com/newsgraphics/coronavirus-world-map/>（最終確認：2021年2月2日）を参照。
  - (3) 人口10万人当たりの新型コロナウイルス感染症による死者数はアメリカ116.6人、ブラジル98.3人、インド11.2人、フランス103.1人、スペイン11.3人、ドイツ53.3人、日本3.29人、台湾0.03人である（死者数÷人口×10万で計算）。

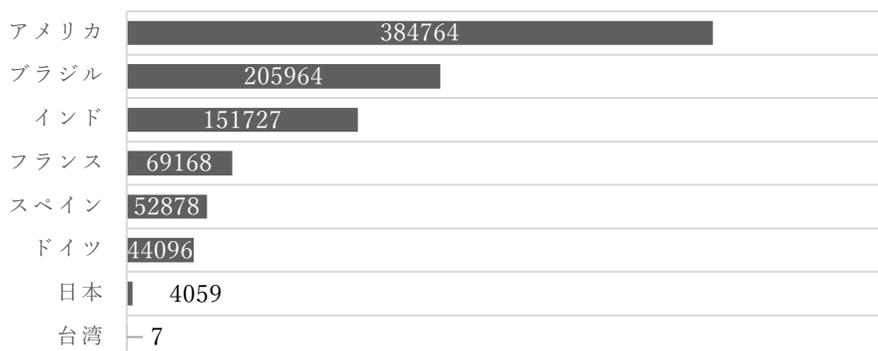


図 1 : 令和 3 年 1 月 16 日時点での国別累計死者数

とりわけ目を引くのは台湾の事例である。死亡者数が累計で 7 人ということに驚くが、感染者数は新規感染者が発見されて 1 年以上経った今でも累計で 843 人であるこれほどまでに国別死者に差が出るのかは衛生意識、生活文化、遺伝的要因などさまざまな要因があるだろう。私は為政者の政策も大きく影響を与えているのではないかと考えている。

どのようにして、台湾はコロナの抑え込みに成功したのか。この 1 年間の日本と台湾の新型コロナ対策を振り返り、今後疫病に対して国家としてどう向き合えばいいかを、初動、水際対策、検査体制の 3 点から考えていきたい。

## 1. 初動

WHO (世界保健機関) が新型コロナウイルス感染症が検出されたと認定したのが 2020 年 1 月 10 日であった。その後、『国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態』を 1 月 30 日に宣言した際、ヒトからヒトへの感染は確認されていない、または限定的であるとして、「不必要に人や物の移動を制限する必要はない」と、渡航制限などの措置を取らないよう各国に求めた。のちに WHO は「予防目的でマスクを着用する必要はない。過度の使

用は控えるように<sup>(4)</sup>」や「無症状の人が他の人へ感染させるのはとても珍しい<sup>(5)</sup>」等と述べている。国際機関の、このような楽観バイアスがかかった初期勧告が感染拡大を招いた一因であると考ええる。

日本で武漢滞在歴のない新型コロナウイルス感染者が確認されたのは1月28日のことであった。武漢から帰国した日本人や武漢在住の中国人感染者の例はそれまでに5件確認されている。60代男性のバス運転手で、1月8日から11日に中国・武漢市から来たツアー客を、大阪から東京方面の空港まで乗せ、12～16日に別の武漢からのツアー客を、東京から大阪まで乗せたという。その後、1月12人、2月212人と感染者は次第に増え、政府が全世界を対象に入国制限措置と入国後の行動制限に踏み切ったのは3月5日である<sup>(6)</sup>。この時点で日本の累計感染者数は333人であった。

一方、台湾では約80万人の国民が仕事等で生活拠点を中国に置いているとされる。よって、中国からの感染者流入のリスクは非常に高い。実際、台湾で日本よりも早い1月21日に中国・武漢に滞在していた女性の感染が確認されている。台湾では早い段階からウイルスがヒトからヒトへ感染する危険性について把握しており、2019年12月30日にはWHOに照会している（台湾がWHO非加盟であることを理由に共有されなかった）。蔡英文総統は中国との窓口を閉じることでしかウイルスの侵入を抑え込む方法はないと判断し、1月23日に湖北省武漢市からの旅行者の入境を禁止・直行便を停止。1月26日には中国本土からの渡航者を全面的に入境禁止した。この時点で台湾の累計感染者数は4人である。

- 
- (4) 共同通信「令和2年3月1日 goo ニュース感染予防にマスク着用不要 過度の使用控えてと WHO」[https://news.goo.ne.jp/article/kyodo\\_nor/life/kyodo\\_nor-2020030101001372.html](https://news.goo.ne.jp/article/kyodo_nor/life/kyodo_nor-2020030101001372.html) を参照（最終確認：2021年2月2日）。
- (5) 「ヘルス×ライフ web」<https://www.nittsusystem.co.jp/health-life-web.nittsusystem.co.jp/health-column/asymptomatic-pcr-positive-people-is-a-new-type-of-asymptomatic-covid-19-transmitted/>参照。（最終確認：2021年2月2日）
- (6) 「水際対策の抜本的強化に向けた新たな措置について（新型コロナウイルス感染症）」  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00098.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00098.html) を参照（最終確認：2021年2月2日）。

## 2. 水際対策

2020年1月24日から中国で春節の大型連休が始まった。この時点で、中国本土での感染者は4500人を超え、死者は100人を超えていた。中国国内では武漢以外からの感染者・家庭内感染の例も確認され、結局春節の休暇は2月2日まで延長されることになる。日本政府が新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げたのは1月30日のことであり、2月1日から中国湖北省に過去2週間滞在していた外国人の入国申請拒否を決定した。入国制限に至るまでの間、1月には中国本土から約95万人が来日している（1月の訪日外国人の総数は266万人）。

その後、国内の感染者を抑え込めたとして、政府は9月28日に「10月以降、海外への渡航中止勧告を段階的に解除していく」と発表し、10月1日に全世界を対象として入国制限を緩和した。日本から海外の渡航については、感染症危険情報レベル3（渡航中止勧告）としていたが、10月30日には韓国・中国など9か国・地域を対象にレベル2（不要不急の渡航自粛）に引き下げられた。この後11月には中国本土から1万8千人が来日することになる<sup>(7)</sup>など5万6700人の外国人旅行客が訪日した。来日数の増加に伴い国内の感染者数も大幅に増え、12月28日から1月末まですべての国・地域からの新規入国を一時停止することになった。

そして、冒頭に既述の通り2021年1月7日、日本政府は再度緊急事態宣言1都3県に発令することになる。しかし、この緊急事態宣言の会見にて、菅首相は「中国や韓国など11か国・地域との間で合意しているビジネス関係者の往来については継続する」との方針を示した。

台湾では、1末の入国禁止措置以降、外国人の観光目的での入国は一律禁止されていたが、6月29日降、ビジネス等が目的であれば台湾の在外公館／在外事務所に必要な書類を提出し、審査を経て特別入国許可を取得すれば入国が可能となった。それでも11月18日に衛生福利部疾病管制署が秋冬期間中の新型コロナウイルス対策の強化を発表し、台湾に入国する際に

---

(7) 日本政府観光局  
([https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/since2003\\_visitor\\_arrivals.pdf](https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/since2003_visitor_arrivals.pdf))。

は「搭乗前 3 営業日以内に検査した COVID-19 PCR 検査陰性報告」を添付する必要になった。水際対策については「感染者がいないから緩めよう」ではなく、首尾一貫を崩すことはなかった。

### 3. PCR 検査について

PCR 検査に対しては、台湾の中央感染症指揮センターの陳時中厚生大臣が「PCR 検査で、陰性者が陽性と判定される偽陽性・偽陰性が発生する可能性がある」と危険性を指摘している<sup>(8)</sup>。その上で、PCR 検査はその瞬間の保菌状態を判定した指標に過ぎず、その後は感染しないとは限らないと指摘。陰性判定だからと安心して外出し、クラスターを発生させる、また、陰性の為症状のない偽陽性者を入院させることで医療崩壊の危険性を増やしてしまうと指摘した。疫学調査を徹底すれば現状は心配ではないとし、陳大臣は感染拡大を防ぐ最も適切な方法は自宅待機と隔離であると強調した。しっかりと人と人の距離を取り、マスクを着けて密集する場所に入りしないこと。無造作に PCR 検査を拡大するより、経過観察（および症状の有無を確認）した後、最終判定のために PCR 検査を使うことを説いた。

日本では、山梨大学長の島田真路が「不十分な PCR 検査体制は日本の恥であり、クラスター（感染者集団）対策より、検査の拡充で感染者を見つけ、隔離を徹底すべきだ」<sup>(9)</sup>だと言い、京都大学特別教授の本庶佑は「PCR 検査能力の大幅な拡充と、無症候感染者の隔離の強化」と PCR 検査の拡充を主張した。

この主張に象徴されるように、日本では PCR 検査に民間が参入し、自宅で検査ができるようになった。ドンキホーテではジェネシスヘルスケアの新型コロナウイルス PCR 検査キットを税別 1 万 3545 円で販売し、ココカラファインでは、インターネットサイトのみの取り扱いで、「にしたん

---

(8) 2020 年 8 月 22 日定例会見での見解。具体的に、入国者 25 万人のうち、1 万 2475 例は偽陽性が発生する恐れがあるとして、PCR 検査に頼る動きの危険性を指摘した。

(9) 産経新聞（2020 年 5 月 7 日）「PCR 検査抑制は日本の恥 山梨大・島田真路学長に聞く」より引用。

クリニックPCR検査キット」を税別1万5000円で販売した<sup>(10)</sup>。東京都品川区にはPCR検査の自動販売機が誕生した。

にしたんクリニック 検査申込数40万件突破

# 新型コロナウイルス PCR検査

自費検査

来院不要・誰でも簡単 土日祝も休まず対応  
自宅で唾液を採取して送るだけ! 検査・結果通知を土日祝日も行っています。

複数回購入1回あたり **9,000円** (10回用キットの場合)

三ツバ クイック検査なら  
東京・名古屋・大阪・福岡で実施

受領後 **最短3時間** ~当日中に **結果通知!**

主治医大塚 隆 陰性証明書発行

検査法: 唾液・鼻拭き 検査: ティンダー・シムボナー・インテ・カシヤ・インテ

検査所: 東京都品川区 品川1-1-1  
上記以外の自治体、他国の医療機関へ対応しております。

図2：にしたんクリニックの新型コロナウイルスPCR検査キット広告

#### 4. おわりに

累計感染者が4人の時点で入境禁止対策をとった台湾と、333人まで拡大したのち入国制限を取った日本。未知のウイルスに対する対策として、難しい判断であったと思うが、日本政府の初動がもう少し早ければ、初期の段階で抑え込むことができていたのではないかと考える。

(10) 自宅で唾液PCR検査(自費)にしたんクリニック(nishitanclinic.jp)。

表 1 : 2020 年 月別 PCR 検査陽性者数<sup>(11)</sup>

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	
日本	12	212	1900	12361	2488	1748	
台湾	10	29	283	107	13	5	
	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
日本	17367	32000	15091	17583	47132	85891	233785
台湾	20	21	26	41	120	124	799

水際対策については、11 月の段階で感染症危険情報レベルを引き下げ、その後 1 月までビジネス渡航制限を緩和した日本。台湾では同じく 11 月に更なる強化策を発表し、「感染対策は経済活動に優先する」と入国制限を緩めることになかった台湾。前述の陳時中衛生福利部長は「いち早く警鐘を鳴らし、迅速に水際対策を実施したこと<sup>(12)</sup>」を対策成功の主因と述べる。

中国大陸では全市民対象の PCR 検査を実施する地方政府が相次いだ。台湾政府は症状のある人を入院させ、感染疑いのある人には 14 日間の隔離を徹底した。陳氏は「台湾は検査より隔離を重視している。検査をしても偽陰性のまま市中に入ってくる恐れがあるからだ」と説明する。

(11) 日本の数字は厚生労働省 HP のオープンデータを参照。台湾の数字は疾病管制署 /Coronavirus COVID-19 Global Cases by the Center for Systems Science and Engineering (CSSE) at Johns Hopkins University (JHU) のデータを参照。

(12) 「コロナ封じ込め、成功のカギは？（2021 年 1 月 18 日）西日本新聞」  
<https://news.yahoo.co.jp/articles/fdc04be5fe7a2a2a88fec6a0cfc61d7889e929a0/> を参照。

防疫ができなければ、経済も成り立たない。これからも起こり得る未知のウイルスに対し、今回のウイルスに対する台湾の徹底した姿勢から学ぶことは多い。